

関西広域連合と関西経済連合会との意見交換会 概要（※産業振興パーツ抜粋）

○日 時 令和2年7月22日（水） 13:00～15:00

○場 所 大阪府立国際会議場 10階 1003会議室

○出席者

（関西広域連合） 井戸広域連合長、仁坂副広域連合長、三日月委員、西脇委員、吉村委員、
荒井委員、飯泉委員、松井委員、永藤委員、久元委員、鈴木副委員（京都市）、
井上令和新時代創造本部長（鳥取県）

（関西経済連合会） 松本会長、松下副会長、牧野副会長、大坪副会長、角副会長、佐藤副会長、
木股副会長、園副会長、真鍋副会長、村尾副会長

4 関西におけるベンチャー・エコシステム構築に向けた取組

【木股副会長（（株）クボタ 会長）】

- ・ スタートアップ・エコシステム拠点都市に、京阪神3都市が選定されたが、その他の関西の各都市においても、地域の特色に応じたベンチャー企業の創出と育成に向けた取組が行われている。各地の取組の一体感を高め、さらに相乗効果を発揮させていくことが必要。
- ・ 関西広域連合において、腰を据えてオール関西でのベンチャー企業へのサポート体制の構築に取り組んでいただきたい。
- ・ 関経連としても、2025年大阪・関西万博の頃までには、関西のベンチャー企業の育成に優れたアジアの代表的な地域として発展することを目指し、新たに交流、創造、広域連携の3つを柱とする「起業街道・関西」プロジェクトをスタートさせたい。

（吉村委員）

- ・ 関西広域連合においては、今年度から大阪・関西万博に向けた新たな取組として、新事業の創造とその実証の場を関西各地で展開し、それらをショーケースとして国内外に広く発信する事業に着手する。そういった関西各地の実証の場を京阪神に集うベンチャー企業等にも積極的に活用いただき、グローバル拠点都市で提供される様々な支援プログラム等とも一体的に連携していくことができれば、相乗効果が発揮され、関西のベンチャー・エコシステムの強化につながると認識。
- ・ グローバル拠点都市においては、国際イノベーション会議「Hack Osaka」を京阪神の産学官が初の相互乗入で開催し、成功事例の創出にチャレンジする取組みを検討中。こういった取組みについても、連合域内の産学官からも広く参画が得られるよう、情報の共有、発信に努めてまいりたい。
- ・ グローバル拠点都市の取組や、本日紹介いただいた「起業街道・関西プロジェクト」との連携・協力を通じ、各種支援の相互乗り入れ、相互参画が可能なオール関西のエコシステムの構築に向け取り組んでいく。